

2018年 社長年頭挨拶

年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年は、国際政治や地政学的なリスク、自然災害リスクなどはあるものの、世界経済は概ね堅調であり、日本においても安定的な政治状況の中で経済は引き続き好調さを持続すると見通されます。

こうした経営環境の中で、当社グループの本年の主な課題は以下の3点です。

1. 無事故無災害の達成

昨年末に鹿島工場で発生した重大災害を踏まえ、2度と災害を起こさないとの固い決意のもと、重点安全活動の徹底とともに、関係会社・協力会社への安全教育の強化、階層ごとの役割認識の強化、法令遵守の徹底という3本柱の対策により、「生命と身体を守る」ためのしっかりした安全体質を当社グループの隅々にまで浸透させてまいります。

2. コンプライアンスの更なる徹底とグループ全員への教育の一層の強化

私たちは常に東証1部上場企業としての自覚と責任感のもと、法令や規定など社内外のルールをしっかりと守るとともに、リスクの芽を早く摘み取り、事件事故の未然防止に努めてまいります。また日本のモノづくり企業で昨年発覚した数々の不正を教訓に、当社グループにおいてこうした不正を絶対に起こさないよう、常に信義誠実を基本とし公明正大に仕事に取り組む所存です。さらに全員が気持ちよく働ける職場環境の整備に向けて努力してまいります。

3. 今年からスタートする新中期経営計画への着実な取り組み

今回の中期経営計画は旧日本電工の発祥である大垣電気冶金工業所の創業から100年となる2025年に向けての1つのマイルストーン（一里塚）であり、これまでの当社の歩みを謙虚に反省しその教訓を活かして次の100年に向けて全員で当社グループの発展に挑戦するための計画です。

当社の先達が経営環境の変化に社業を対応させて今日まで生き残ってきた当社の歴史に自信を持ち、この中期経営計画をテコに、当社グループは今後とも社会の役に立ち、社会からの期待に応える企業を目指したいと思えます。

(1)合金鉄・機能材料・環境・電力の4つのコア事業を更に推進し安定的な連結収益体制を完成させます。

(2)完全統合に伴い、人材・資金・設備・技術・情報などの経営資源を完全に一体化・連携させ、相乗効果を早期にフル発揮させます。

(3)当社グループの更なる成長を可能とし上場企業に相応しい企業基盤を構築することにより、ステークホルダーから高く評価され信用信頼される企業に生まれ変わります。

今年1月1日に完全統合を果たした新しい新日本電工グループの更なる発展を目指して、当社グループをあげて様々な課題の解決に全力を傾注する所存ですので、引き続きご理解ご支援のほど宜しくお願いいたします。

皆様のご健勝ご多幸を心から祈念し、年頭のご挨拶とします。